

横須賀市立市民病院（横須賀市）

高瀬奈緒

横須賀市立市民病院は昭和38年12月に市立武山病院として開院しました。横須賀市・三浦半島西部地区の中核的病院として、高度急性期、急性期医療を中心に診療しています。受診される患者さんの多くは横須賀市西部、三浦市の方ですが、逗子市、葉山町からも多くの患者さんを受け入れています。平成22年に公益社団法人地域振興協会が指定管理する病院となり、協会の「すべての地域のすべての方々が安心して受けられる医療を目指して」という病院経営理念に基づいて、地域の方々、地域医療機関のニーズに応えるべく病院の機能充実を図っています。平成29年1月には地域包括ケア病棟が新設されました。急性期を脱した後、在宅療養へむけて地域医療連携室、訪問看護ステーション、往診診療医等が協力して支援を行う体制を整えています。また、平成27年4月に産後のお母さん、赤ちゃんのために横須賀市産後ケア事業が開始され、当院で産後ケア入院を利用できるようになりました。経験豊富な助産師によって産後のお母さん方へ心身のケアや育児のサポートを提供しており、好評を得ているようです。

交通機関はJR逗子駅、京急新逗子駅、横須賀中央駅からバスで約35分、京急三崎口駅から約20分かかります。ほとんどの方は自家用車で受診されます。逗子駅からのバスは葉山を過ぎたあたりから海岸線に沿った道を走りますので富士山や伊豆大島、海に浮かぶヨットを眺めながら病院へ向かうことができます。時間によっては夕日が伊豆半島に沈む絶景に出会えます。周囲を自然に恵まれた環境であり、夏季は磯遊び、海水浴、釣り等に観光客が多く訪れます。そのため、夏はウニ棘刺症、クラゲ刺症、釣針刺傷といった外傷患者が増えることも当院の特徴だと思います。

当科は長らく東京医科歯科大学から医師が派遣さ



平成29年3月までのメンバー
後列左より：外来看護師2名、クラークさん2名
前列左より：川村杏奈医師、筆者（高瀬）

れていましたが、平成27年4月より横浜市立大学皮膚科の関連病院となり、私が赴任させて頂いております。直前の半年間は週に2回、午前中の外来診療のみと規模が縮小されていまして、赴任当初は受診する患者さんも少なく、外来を使いやすいように整えたりしながら徐々に慣れることができました。平成27年度、平成28年度の2年間は、常勤2人体制で診療を行っていました。平成29年4月からは常勤1人体制となりますが、火曜日と金曜日の午前中は非常勤医師を派遣してもらい2診で診察する予定になっています。

外来診療は月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の午前中8時半から11時半までの受付となります。予約制をとっていますが、予約のない患者様、紹介状のない患者様も拝見させて頂いております。水曜日は手術日としています。午後は生検やパッチテスト、プリックテストなどの検査、外来小手術、入院患者さんの回診を行っています。

診療内容は皮膚科全般ですが、円形脱毛症に対するSADBE療法や、陥入爪に対してはワイヤー矯正



(自費診療)を行っています。平成28年度から形成外科の常勤医師が1人から2人へ増員され、比較的大きめの基底細胞癌や有棘細胞癌の手術も当院で施行できるようになりました。超高齢者が多い当院では、悪性腫瘍が見つかった場合、全身麻酔は難しい、手術の体位を維持することが難しい、認知症があって入院は無理など、様々な問題に直面します。先日は頬に増大傾向のある有棘細胞癌が見つかった100歳の方の治療方針について、どうしようか迷って相談したところ局所麻酔で切除、植皮術を行って下さり、本当に心強い存在です。

院内の褥瘡については、週に1回、褥瘡回診を行っています。褥瘡対策委員会は長く前任の形成外科医師が委員長を務めてくださっていましたが、退職されたことに伴って平成28年度より私が委員長を引き継いでいます。メンバーは形成外科医師、皮膚排泄ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ科スタッフ、臨床工学技士で構成され、連携をとりあって褥瘡の治療、予防に取り組んでいます。栄養サポートチーム、嚥下チームも積極的に活動しており、褥瘡患者さんの栄養面について協力してもらっています。フットケアに関しては看護師が月2回、糖尿病患者さんを対象に爪切り、グラインダーを使った爪やすり、胼胝削り、日常生活におけるスキンケアや観察の必要性などの指導を行っています。皮膚科の隣のブースで行っていますので、異常が見つかった場合はスムーズに皮膚科を受診することができるようになっています。こちらでも需要が多く、予約がいっぱいの状況が続いています。

近隣の先生方や病院と連携しながら、地域の方々のお役にたてますよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

座間総合病院 (座間市)

西山浩美

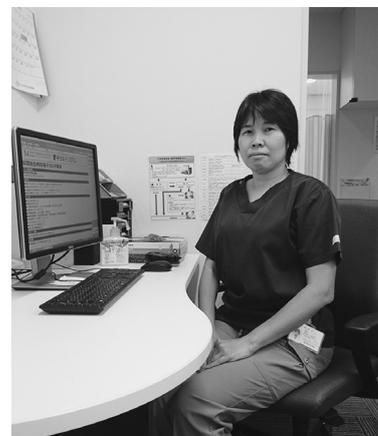
座間総合病院は医療法人 ジャパンメディカルアライアンスグループの病院として、平成28年4月1日、神奈川県座間市相武台に開院いたしました。まだ出来て間もない新しい、綺麗な病院です。

病院建設の経緯としては、米軍座間キャンプの敷地の一部が座間市に返還され、返還地の利用方法として市民からの病院建設の要望が高く、そこに座間総合病院が建設されました。

最寄駅は小田急線の相武台前駅です。駅より病院へシャトルバスが運行していますが、徒歩でも15分以内で到着します。昨年10月からはシャトルバスの他に、座間市のコミュニティバスの運行も開始されています。また、病院の敷地内には駐車場があり、十分な駐車スペースが確保されています。開院して

1年がたちますが、満車になることはほとんどありません。患者さんは座間市はもちろん、相模原市南区、大和市、綾瀬市、海老名市からもいらっしゃいます。

病院の入院病棟は、急性期病棟、回復期病棟(リハビリテーション目的)、療養病棟、そして平成29年9月にオープン予定の地域包括ケア病棟があり、合計320床です。



筆者

標榜科は皮膚科以外には、総合診療科、内科、外科、小児科、整形外科、人工関節科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻科、眼科、リハビリテーション科、漢方内科があります。

当院の特徴は、人工関節センターがあることです。人工関節置換術に特化した医師が6名在籍しています。手術はもちろんのこと、術後のリハビリテーションにも力をいれており、医師、理学療法士が連携して行っています。

さて、皮膚科についてご紹介したいと思います。皮膚科は私西山と、北里大学病院から派遣医師1名の、常勤医師2名で診療を行っています。

診療内容については、主に湿疹皮膚炎、蕁麻疹、皮膚腫瘍など、一般的な疾患を扱っています。

診療機器は全身型のナローバンドUVBを備えています。検査については、皮膚生検のほか、金属パッチテスト、スタンダードパッチテストも行っています。人工関節置換術の手術予定の患者さんで、金属アレルギーの既往のある方は当科で金属パッチテストを行っており、他科と連携して診療にあたっています。

手術については主に皮膚良性腫瘍を中心に行っています。ただし、患者さんの性別、年齢、腫瘍部位により、術後の整容的な問題から形成外科に紹介させていただく場合もあります。

悪性腫瘍については、座間総合病院全体の方針で化学療法による治療は行っていませんので、化学療法が必要な可能性のある皮膚悪性腫瘍については、北里大学病院皮膚科にご紹介させていただいています。

また、乾癬の生物製剤については、当院に常勤の呼吸器内科の専門医がいないため、日本皮膚科学会の定める生物製剤使用承認施設の条件を満たしていないことから、現時点では行っていません。

自費診療については当院では行っておらず、系列の海老名メディカルサポートセンターにご紹介させていただいています。そちらでは、AGAの内服治療、Qスイッチレーザー、炭酸ガスレーザーの治療などを行っております。

外来診療の受付時間ですが、日曜、祝日以外の月～土曜の午前朝9時から11時半まで、木曜のみ午後3時半から4時半までとなっております。予約がなくても、診療時間内に直接来院していただければ受診できます。特定療養費については、当院がまだ開院して間もないということもあり、平成29年3月の時点ではかかりませんので、紹介状がなくても気軽に受診可能です。

入院患者さんは带状疱疹や蜂窩織炎などが多く、平均2名ほどです。小児病棟がなく、小児患者の入院ができなかったり、病棟が満床のためすぐの入院ができないことがあります。まずは気軽にご紹介いただければと思います。その際は座間総合病院(代表☎046-251-1311)、または座間総合病院地域連携室(直通☎046-251-3700)を通していただければ幸いです。

少しでも地域の先生方のお役に立てればと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

